当金庫の沿革

昭和

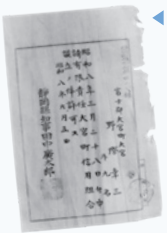
8年（1933年）	6月	「有限責任大宮町信用組合」設立
8年（1933年）	9月	西町出張所（現西町支店）開設
13年（1938年）	4月	東町出張所（現東町支店）開設
17年（1942年）	7月	市制施行により「有限責任富士宮市信用組合」に名称変更
18年（1943年）	7月	市街地信用組合法の施行により「富士宮市信用組合」に組織変更
23年（1948年）	5月	地区拡張認可吉原市、富士郡一円（2町14村）を追加
23年（1948年）	7月	富丘支所（現北支店）開設
25年（1950年）	4月	中小企業等協同組合法に基づき信用協同組合に改組
25年（1950年）	12月	預金1億円達成
26年（1951年）	10月	信用金庫法に基づき「富士宮信用金庫」に組織変更
27年（1952年）	8月	富士根支店開設
28年（1953年）	2月	芝川支店開設
28年（1953年）	2月	地区拡張認可庵原郡内房村および松野村を追加
33年（1958年）	9月	上野支店開設
34年（1959年）	3月	預金10億円達成
36年（1961年）	4月	新本店（現神田支店）竣工、営業開始
45年（1970年）	4月	預金100億円達成
46年（1971年）	4月	富士支店開設
46年（1971年）	9月	地区拡張認可庵原一円（蒲原町、由比町）を追加
48年（1973年）	11月	日本銀行歳入代理店の業務取扱開始（本店）
48年（1973年）	12月	吉原支店開設
49年（1974年）	7月	地区拡張認可沼津市を追加
51年（1976年）	11月	鷹岡支店開設（店舗数10店舗となる）
53年（1978年）	12月	預金500億円達成
54年（1979年）	3月	新本部建物で業務開始
55年（1980年）	4月	新本店営業開始、神田支店開設
55年（1980年）	9月	富士見支店開設
57年（1982年）	6月	松岡支店開設
58年（1983年）	6月	地区拡張認可清水市を追加
59年（1984年）	9月	国久保支店開設
60年（1985年）	10月	駅南支店開設
60年（1985年）	11月	淀川支店開設
61年（1986年）	6月	地区拡張認可山梨県南巨摩郡富沢町、南部町を追加
61年（1986年）	9月	預金1,000億円達成
62年（1987年）	10月	万野支店開設

平成

2年（1990年）	11月	新富士支店開設
4年（1992年）	8月	中里支店開設
6年（1994年）	9月	財団法人みやしん地域振興協力基金を設立
7年（1995年）	7月	集中倉庫竣工（駅南支店隣接地）
10年（1998年）	3月	預金2,000億円達成
10年（1998年）	4月	上井出支店開設（店舗数20店舗となる）
13年（2001年）	4月	損害保険募集業務取扱開始
13年（2001年）	10月	投資信託の窓口販売開始
13年（2001年）	10月	イオンモール富士宮にATMを設置
15年（2003年）	4月	生命保険の窓口販売開始
15年（2003年）	6月	個人向け利付国債の取扱開始
16年（2004年）	11月	富士根支店移転営業開始
22年（2010年）	3月	富士見支店移転営業開始
23年（2011年）	2月	鷹岡支店移転営業開始
25年（2013年）	3月	吉原支店移転営業開始
25年（2013年）	5月	芝川支店移転営業開始
26年（2014年）	5月	がん保険、医療保険、標準傷害保険の取扱開始
27年（2015年）	2月	「みやしんサポート相談室（みやサポ）」を神田支店3階に開設
27年（2015年）	6月	「みやしんお客さま相談プラザ」を北支店に併設
28年（2016年）	3月	預金3,000億円達成
29年（2017年）	8月	後見支援預金の取扱開始
29年（2017年）	10月	信託契約代理業の取扱開始
30年（2018年）	4月	東町支店新店舗で営業開始
31年（2019年）	4月	「みやしんサポート相談室（みやサポ）」を「みやしんお客さま相談プラザ」に移転

令和

元年（2019年）	11月	静岡県東部4信金「共同SDGs宣言」の公表
元年（2019年）	12月	中里支店廃止（吉原支店に統合）
3年（2021年）	10月	富士宮市役所にATMを設置
5年（2023年）	5月	㈱スーパーオギノ富士宮弓沢店（アクロスプラザ富士宮）にATMを設置
6年（2024年）	3月	預金4,000億円達成
6年（2024年）	10月	「NEXT VISION富士宮」発足
8年（2026年）	4月	公式キャラクター「うしみやくん」誕生



◀設立許可証

昭和4年（1929）年、世界恐慌が起きると日本は瞬く間にその波に飲み込まれ、経済は深刻な状況下にありました。また、当時の富士宮市は、昭和7年4月21日に発生し約1200戸を全焼した未曾有の大火事「大宮町大火」、さらに同年6月と11月に襲来した2度の大暴風雨によって、住民は極度の苦境に立たされていました。

災害からの復興と富士郡大宮町一体の産業や人々の生活を守るため、信用組合の設立をめざした東奔西走する10人の有志たちによって、当金庫の前身「有限責任大宮町信用組合」が設立されました。

▲有限責任大宮町信用組合

富士宮信用金庫 金庫章（みやしんマーク）

創立50周年記念事業の一環として職員より新金庫章のデザインを募集し、昭和58年4月15日に制定されました。
みやしんの頭文字“M”で日本一の富士山を、“S”でその広い裾野を表し、未来に向かっても裾野金融に徹し、躍進を続ける富士宮信用金庫の姿を、そびえたつ富士で表現しています。
赤色は情熱（太陽）、青色は若さ、白色は誠実（清潔）を表し、これを囲んだ丸は団結と協調を示しています。